

- コミュニケーションは思いやり？ いいえ、コミュニケーションは戦略的にするものです。人間関係の中では、軋轢（あつれき）や、不必要な問題が少ないほうがいいですね。
 - ★「私／僕が、今、ここで今、こう言ったら、この人はどう感じて、どう返してくるだろう？」と常に想定して、実際に返ってきた応答が自分の想定と合っていたかを評価しながら、「この人」の「こういう時」に合ったコミュニケーション戦略を作っていきます。
 - ★それが「思いやり」では？ いいえ、「思いやり」は「相手がいやだと感じるかもしれないことを言わない」「話し合いをしない」という方向に向かいがち。対保護者でも園内でも、「はっきり言わない」「明確に伝えない」は、かえって問題につながります。
 - ★一人ひとり、必ず「コミュニケーションの癖」があります。あなたにもあります。みんな癖は違うので、そこを理解しつつ、「こう言ったら、この人はどう感じて、どう返してくるか」を繰り返す。
 - ★自分のコミュニケーションの癖は、自分ではなかなか気づきません。職場でせめて同期とは言い合えるように（⇒ だから、職場で「率直に伝える」が重要なのです）。本当は、園長に保育士が言えるような園が一番。
 - ✕「あなたが嫌いだから、はっきり言う」
 - ✕「あなたと仲がいいから、気を悪くするようなことは言わない」
 - ◎「（あなたが好き／嫌いだけど、それとは関係なく）保育という仕事をしっかり進めていくために、言うべきことは言う。」

- コミュニケーションの内容はどれも同じ、ではありません。対保護者でも園内でも。
 - 1) それは伝達？ 質問？ 意見を言われている？ 意見を求められている？ など
 - 2) その内容は誰の責任範囲？ あなたが一人で答えてしまっていること？
あなたが自分で「答えられる」≠あなたが自分で「答えてしまっている」
 - 3) その人（特に保護者）があなたに言っていることを、感情で受け取らない
 - ★聞いていて「いやだ」と思うことは感情的に「苦情」と感じてしまう。すると相手は…？
 - ★大部分は保護者の生活に由来する「八つ当たり」
 - ★子どもについて「園で～して」と言われたら、すべて従うべき？ 保護者の都合では？
 - ★園にとって役立つ「意見」もある

- とにかく、まず（内容を）受け止める。でも、決して（感情に）受け入れない。